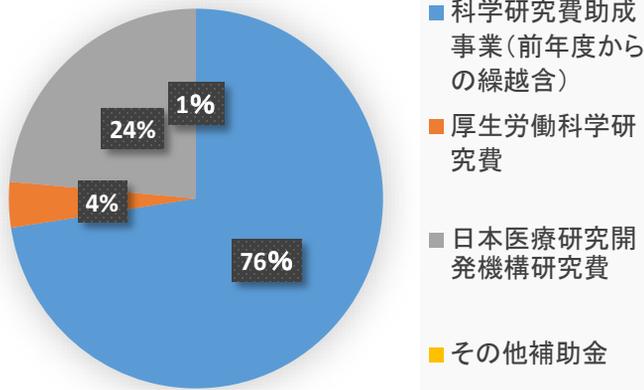


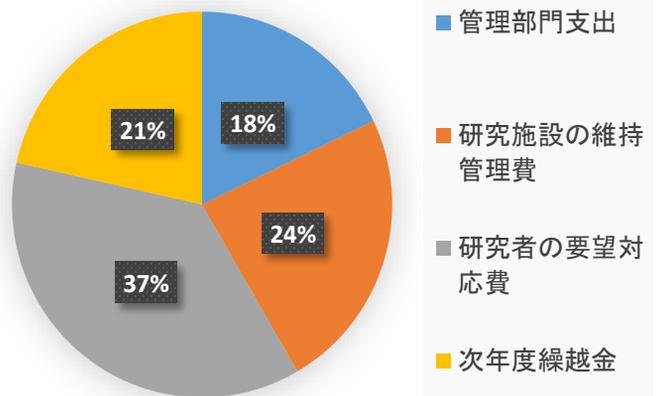
令和元年度 競争的資金に係る間接経費執行実績報告

令和元年度 競争的資金に係る間接経費執行実績報告について、以下の通りご報告いたします。

収入 121,515千円



支出 121,515千円



支出内訳	金額(千円)	主な内容
管理部門支出	21,711	公的資金企画管理課 派遣職員人件費 など
研究施設の維持管理費	28,894	実験動物施設・蛋白質核酸解析部門人件費、図書館電子ジャーナル費用(一部)、大判プリンターサービス消耗品 など
研究者の要望対応費	44,769	共同利用機器室、共同利用培養室への研究機器導入 など

間接経費での導入事例①

タンパク質多項目同時解析装置 マルチプレックスアッセイシステム

xMAP テクノロジーを用いたマルチプレックスアッセイは、細胞又は生体由来の少量サンプル(～ 25 μL)中のタンパク質を検出できる免疫アッセイシステムです。井の頭キャンパスA棟209号室に設置されました。

利用希望者は井の頭キャンパス 内線:1510
(三鷹からは161510)
保健学部 臨床検査技術学科
島田先生へお問合せ下さい。



出典:タンパク質多項目同時解析装置
マルチプレックスアッセイシステムカタログ

間接経費での導入事例②

キャピラリーシーケンサー

遺伝子解析(サンガーシーケンシング及びフラグメント解析)のできる機器として、さまざまな角度から個々の研究症例や、コホートにおける遺伝子変異データを収集することが可能です。三鷹キャンパス共同利用機器室(臨床医学研究棟5階506号室)に設置されました。

利用希望者は蛋白質核酸解析
部門 野崎さん 内線4533(井
の頭からは994533)へお問い合
わせください。



出典: <https://www.thermofisher.com/jp/>